

宇部で4日間の学外学



芝生の上で車椅子を押す難しさを体感する学生(常盤公園で)

11日に報告会

同大の学外学習は、11学部20学科に在籍する1年生約2000人の必修科目。約80あるプログラムの一つを昨年より宇部で実施している。今年も6学部9学科の1年生が参加した。

宇部市が国の共生社会ホストタウンに認定されていることから、共生社会をテーマとしており、市、市障害者ケア協議会も協力。身近なバリアを探る」が一つの課題となっており、初日は常盤公園でバリアフリー観光を体験した。

(久保)

武蔵野大1年生34人

バリアフリー調査 障害者と就労体験

武蔵野大(西本照真学長、東京)の1年生34人が8日から、宇部市内で学外学習(フィールド・スタディーズ)に取り組んでいる。11日までの4日間、常盤公園での調査、市内障害福祉サービス事業所での障害者との就労体験などを通じ、共生社会についての理解を深める。

21日から全国交通安全運動 高齢運転者の事故防止など

秋の全国交通安全運動が21日から始まる。行楽シーズン中の交通量の増加に伴う事故の発生を防止するため、交通安全対策協議会(会長・村岡副政知事)が毎年実施。宇部市内でも30日までの間、警察、交通ボランティアなどが街頭啓発を展開し、安全運転を呼び掛ける。

日本のリーダーを育成

次世代キャンプ 国内外の若手経営者

20年後の日本をけん引していく人材育成を目的とした次世代リーダーズキャンプが7、8の両日、ANAクラウンプラザホテル宇部で開かれた。国内外の若手経営者90人が出席。ジョンソン・エンド・ジョンソンの元社長、新将命(あたらし・まさみ)さんらの基調講演を聴き、企業のトップとして必要な知識を学び、各自が日本の将来を担っていくリーダー像を考えた。

2日目の開催。開会にあたり、竹岡哲朗実行委員長は「多士済々の講師陣の講話から、今後の発展の鍵となるものをつかんでほしい」とあいさつした。トップを切った新さんは「リーダーシップについて熱く講演。会社づくりは人づくり」と述べ、人材育成の重要性を説いた。また、中小企業が伸び悩む原因はトップが任せられないからと、見えないことの大変さを痛感した。4日間、貴重な体験がたくさんあると思うので、しっかりとまとめ、最終日の発表につなげたい」と話した。

(久保)

宇部市出身の藤村雄志(渋谷区)が事務局となり、さんが経営するVALC実行委員会方式で行ってREACTION(東京都)いる同キャンプは、今年



列をつくるクラシックファン(ツジグラン宇部で)

緑風抄

カカアに宿六。時きといつわけではな城下の長屋の井戸端酒場の場面で、よくる言葉だ。かなりくだけた呼びひど、互いに親愛の情があつてこのだろう。現代では、おおよそ(こ)はない。製薬会社のゲが、既婚女性を対象に行った「呼び方に関するアンケート」で者に配偶者を紹介する場合、男に「お嬢さん」と呼ぶのが、女性に「お嬢さん」が多い。一方、妻が呼んでいるのは「お嬢さん」だ。次いで夫、主人、夫いにと呼ぶか。それは時と場合で異なる。主従関係や家制度な意味が語源にあつたとしても意識して使ったり、受け取つる人は少ないだろうし、お互いにくる言葉にすればいい。トには家での呼び方、呼ばれ方だった。ニックネームや名前にちゃん付け、呼び捨てやパパ、ど。時がたち、気付けば名前を口ことも少なくなつた。それんの関係ならまだいいが。果わが家はどうか。少数回答つた「人前では言えない」だ。

(日高)